

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース (2018年10月17日付け)

京畿道坡州(漢江河口)で野鳥糞便からH5N2型鳥インフルエンザ(AI)抗原検出

- AI緊急行動指針(SOP)に基づいてブロック防疫措置

出典 URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE88JTJGyMzJTGbWFmcmEIMkY2OCUyRjMxODYzNSUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJT12aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJT12cmdzRW5kZGVtdHI1MOQIMjZwY2d1JTNEMSUyNmJic09wZW5XcmRTZXE1MOQIMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnNyY2hXcmQ1MOQIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW41MOQIMjZyb3c1MOQxMCUyNg%3D%3D>

(機械翻訳等に基づく仮訳)

□ 農林畜産食品部(長官:イゲホ)は「'18年AI常時予察検査推進計画」に基づいて10月11日、京畿道坡州(漢江河口)で採取された野鳥糞便の農林畜産検疫本部による検査結果、10月16日、H5N2型AI抗原(遺伝子)が検出されたと発表した。

○これにより、農林畜産食品部はAI緊急行動指針(SOP)に基づいて、抗原が検出された地点を中心に、

- ①半径10kmの地域を「野生鳥獣類予察地域」に設定
- ②地域内の家禽と繁殖中の鳥の予察・検査、移動制御および消毒
- ③渡り鳥の飛来地と小河川などの近くの農家のブロック防疫強化
- ④当該自治体にとって広域噴霧器など防疫車両を総動員して、毎日消毒を行うなど防疫措置を講じた。

<参考>

特別防疫対策機関(2018年10月から2019年2月)の野鳥対策

(韓国農林畜産食品部プレスリリース抜粋)

- ・中国・ロシア等主要国の動向に集中分析
- ・検査実績週報(公表)
- ・貯水池野鳥予察
- ・渡り鳥情報通報プログラムの運用
- ・野鳥AI検出時防疫強化